

登録コード	L2620200	開講年度	2026				
担当教員	渡邊 匡一			副担当			
授業科目	日本文学概論Ⅱ						
英文授業名	Japanese Literature: Introduction Ⅱ						
授業タイトル	日本文学概論Ⅱ						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	木曜・6時限
講義室	人文第4講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			⇔	多様な日本文学研究の方法や、その変遷について学ぶことで、自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力を養います。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	多様な日本文学研究の方法や、その変遷について学ぶことで、思索力・受容力・批判力を養います。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	日本古代から現代における言語、文化について具体的な作品や言説を取り上げながら、多様な文学研究の方法や、その変遷についての概説を行います。様々な研究方法の可能性を探るとともに、現在の研究動向についても分析する予定です。						
授業計画	第1回：文学研究とは何か 第2回：古代神話の変容（1）『日本書紀』、『古事記』における三種の神器 第3回：古代神話の変容（2）三種の神器・劔譚の変容 第4回：古代神話の変容（3）日本の始まりをめぐる 第5回：古代神話の変容（4）天照太神の性別をめぐる 第6回：古代神話の変容（5）天岩戸の所在地をめぐる 第7回：『源氏物語』の変容（1）平安・鎌倉時代における『源氏物語』の享受 第8回：『源氏物語』の変容（2）室町時代における『源氏物語』の享受 第9回：『源氏物語』の変容（3）江戸時代における『源氏物語』の享受 第10回：『源氏物語』の変容（4）明治時代以降における『源氏物語』の享受 第11回：お伽噺と童話（1）現代の『一寸法師』 第12回：お伽噺と童話（2）江戸時代の『一寸法師』 第13回：地域伝承への展開（1）平安時代の小野小町伝承 第14回：地域伝承への展開（2）室町時代の小野小町伝承 第15回：地域伝承への展開（3）江戸・明治時代以降の小野小町伝承。授業アンケートの実施						
成績評価の方法	レポート（期末80%）、リアクションペーパー（20%）で評価します。						
成績評価の基準	以下の基準を総合して、『卓越している』／『かなり上にある』／『やや上にある』／『その水準にある』を判断します。 リアクションペーパー：①講義内容の理解、②①に即した考察。 レポート：①質疑等で指摘された問題点や課題を取り込むこと。②担当話の中に出てくる語句を様々な辞書や書物を用いて調べあげていること。③調べたものを適切な表現で説明できていること。④考察の目的・方法が適当であること。⑤考察の結論に至る論理が適当であること。						
事前事後学習の内容	授業進度にあわせてとりあげる資料に目を通した上で授業にのぞみ、授業後には、講義中に提示された論文などを読んで理解を深めつつ、レポート執筆の準備を進めてください。						
履修上の注意	毎時間、講義の終わりに意見・質問や感想を書いてもらいます(リアクションペーパー)。質問については次の講義で確認、補足を行います。						
質問、相談への対応	水曜日12:10～13:00をオフィスアワーとします。事前にメール等で連絡してください。						
教科書	授業中にプリントを配布します。						
参考書	授業中に指示します。						